

東通ヘッドオフィスの運用開始について

2025年10月23日

東京電力ホールディングス株式会社

青森事業本部

当社が青森県下北郡東通村砂子又に建設していた「東通ヘッドオフィス」が9月に竣工し、11月より入居開始することをお知らせいたします。

施設名称については、オフィス棟を「nooqu OFFICE（ノークオフィス）」、住居・交流施設を「nooqu LIVING（ノークリビング）」と決定しました。

なお、施設の一般開放は11月29・30日にオープニングセレモニーを経て、12月1日より開始いたします。

＜設立の背景＞

2019年7月に設置した青森事業本部は、これまで東通原子力建設所にてオフィスを間借りする形で事業を行っていましたが、機能・人員等のさらなる強化を図るため、2023年8月より東通村ひとみの里エリアにオフィスおよび社員寮の建設を開始しました。



当該施設は当社の省エネに関する知見を活かし中規模以上（2,000㎡以上）の建物として青森県内で初めてのNearly ZEB[※]の認証を受けました。

また、災害に備えた設備を配置しており、地域の防災に寄与します。

さらに、社員食堂やコインランドリーなど一部施設を開放することによって地域の人々の利便性向上と交流促進に貢献してまいります。

※Nearly ZEB：ZEB（Net Zero Energy Building）1次消費エネルギーをゼロにした建物に限りなく近い水準。詳細は別紙参照。

<施設概要>

	<オフィス棟>	<住居・交流施設>
		
名称	nooqu OFFICE <ノークオフィス>	nooqu LIVING <ノークリビング>
所在地	青森県下北郡東通村大字砂子又字沢内 5-113	青森県下北郡東通村大字砂子又字沢内 9-63
敷地面積	6,631㎡	6,018㎡
延床面積	5,558㎡	8,699㎡
構造・規模	RC造・地上2階建	RC造・地上3階建
フロア	1階：シェアオフィス、屋内広場 2階：オフィス	1階：食堂、ランドリー、 ブックコーナー 2・3階：社員寮

○添付資料： 東通村ひとみの里エリアにオフィス&住居・交流施設が完成

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
青森事業本部 広報グループ 0175-45-7052 (ダイヤル)

2025年10月23日
東京電力ホールディングス株式会社
青森事業本部

東通村ひとみの里エリアにオフィス&住居・交流施設が完成
名称は nooqu [ノーク]、11月より入居開始
～食堂やコインランドリーを12月から一般開放、地域交流の場としても活用～

当社が建設を進めてきた「東通ヘッドオフィス」が9月に竣工し、11月より入居開始することをお知らせします。施設は事務所が入るオフィス棟「nooqu OFFICE（ノークオフィス）」と、社員寮が入る住居・交流施設「nooqu LIVING（ノークリビング）」の2棟で、施設の一部を12月から一般開放することで地域の利便性向上と新たな交流の創出をめざしてまいります。



オフィス棟内「屋内広場」

■ 施設名について

「nooqu<ノーク>」は、n（=next 次なる）、∞（=infinity 持続可能な）、q（=quest 探求・追求）、u（=unite つなげる・まとめる）を組み合わせた造語です。「これからの持続可能な地域づくりを追求し、地域とつながる施設でありたい」という想いを込めて本名称に決定いたしました。

nooqu

【イベント告知】11月29・30日「オープニングイベント」を開催

一般開放に先駆けて「見て・触れて・味わう」がテーマのイベントを開催します。当日は地元の団体によるステージショーや限定メニューの提供など、お子様から大人まで楽しめる内容を予定しています。

<日時> 2025年11月29日（土）13:00～16:00
11月30日（日）10:00～15:00

<会場> nooqu OFFICE / nooqu LIVING

■施設概要 ※各施設は12月1日よりご利用いただけます。

〈nooqu OFFICE〉：オフィス機能のほか、ワークラウンジや屋内広場を設置。



◆work lounge（ワークラウンジ）

利用登録 & 予約制で利用できるワーキングスペースです。電源や Wi-Fi を完備するほか、個室ブースや多人数でも利用できる会議室も用意しています。

〈営業時間〉【平日】9:00～17:00 ※年末年始は休業



◆災害対策

太陽光パネルや蓄電池、非常用発電機など、災害に備えた設備を配置。万が一の災害の際には、地域防災に貢献します。



◆屋内広場

約 200 インチの大型スクリーンを備えた「屋内広場」を 1 階に設置。憩いのスペースとして多くの方々に利用いただけるよう、季節に合わせたイベント開催などさまざまな活用を企画しています。

〈nooqu LIVING〉：社員寮のほか、24 時間営業のコインランドリーや食堂、ブックコーナーを 1 階に併設。



◆ノークランドリー

ふとんも洗える大型タイプから靴用まで、さまざまな洗濯乾燥機を用意したランドリースペース。

〈営業時間〉24 時間営業 ※年末年始は休業



◆の〜く食堂・ノークブルワリー

地元産の食材を活かし、栄養バランスのとれた身体にも優しいメニューを取り揃えた食堂です。併設されたノークブルワリーでは、醸造したクラフトビールもお楽しみいただけます。

〈営業時間〉【平日】カフェ 15:00～17:00、ディナー 17:30～21:00

【土日祝】ランチ 10:30～14:00、カフェ 15:00～17:00

ディナー 17:30～21:00

※年末年始は休業、平日ランチタイムはご利用いただけません。



◆よりみちブック

旅・自然・暮らし・子育てなど、多彩なジャンルの書籍を取りそろえたブックコーナーです。（書籍の貸出しはしていません）

〈営業時間〉9:00～17:00 ※年末年始は休業

■ カーボンニュートラル社会の実現を目指して

当該施設の企画・計画は東京電力ホールディングス株式会社、設計をグループ会社の東電設計株式会社にて実施し、これまでの東京電力グループの省エネ普及活動で得られた知見を活かしています。

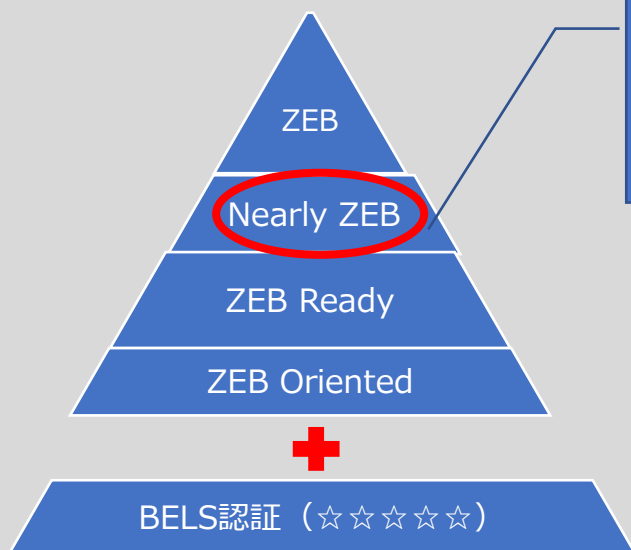
具体的には、オフィス棟（nooqu OFFICE）は、建物の高断熱化、高効率な空調機、地中熱、蓄熱槽等を採用し、快適性と省エネルギー性を高めたオフィスとなります。1次エネルギー消費量は基準値より56%削減、太陽光発電による創エネを含めると、83%削減を達成しました。

なお、オフィス棟は、中規模以上（2,000㎡以上）の建物において、青森県内で初めて、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにする建築物であるZEBに限りなく近いNearly ZEBのBELS認証※1を取得しています。また、太陽光発電、蓄電池、非常用発電機に加え、別敷地となる住居・交流施設（nooqu LIVING）と自営線※2で繋ぐことにより、太陽光発電の自家消費率向上やレジリエンス強化を図っています。



※1 BELSとは、「Building-Housing Energy-efficiency Labeling System」の略称。建築物の省エネ性能を表示する第三者認証制度の1つ。BELS認証を受けた建築物は、一次エネルギー消費量をもとに5段階の星マークで表示されます。

BELSの最高ランク（5つ星）を獲得した上で、一次エネルギー消費削減率により、ZEB、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Orientedの順に段階に応じた認証を受けることができます。



当社（nooqu OFFICE）は、BELSの最高ランク（5つ星）を獲得した上で、ZEBに限りなく近いNearly ZEBのBELS認証を取得しています。



※2 自営線とは、事業者が自ら敷設した電力用ケーブルのことを指しております。

nooquに関する情報は11月上旬に公開予定のホームページでもご覧いただけます。

